

ボランティア

賀川記念館 50年の歩み

賀川記念館設立後、10年目に作成された“賀川記念館10年のあゆみ”に村山盛嗣館長（当時）は、以下のような文章を書かれています。

「記念館設立の趣旨を訴え、運動を開始しようとした時、賀川先生の弟子の一部から反対がありました。記念物的建物は賀川の意志ではないという意味のものだったと思います。私も同感であります。しかしながら、多くの方々は、記念館が唯単に賀川を回想し、記念品を陳列する建物でなく、賀川の精神を受け継ぐ場である事を充分に理解して下さり、今日の日を見る事が出来ました。誠に感謝に堪えません。

かつて、先生は「セツルメント事業の根本原理は、人格交流運動である」と断言いたしましたが、記念館の第一の使命はこの原理を徹底する事だと信じます。セツルメント運動を革命の一手段とする流れが存在している中でいよいよその観を深くします。

又先生は常に社会事業に於ける開拓的役割を果たしてまいりました。記念館の第二の使命は、この精神を継承することだと信じます。そのために記念館は社会事業に於ける臨床実験的役割を思い切って引き受けていくべきだと思います。この二つの使命を十二分に果たすことが先生の意志であり、真の記念であると思います。」

社会保障制度が整備され、さまざまな福祉課題が制度の対象となり、制度の利用者としてサービスを受ける、という形になっている今、私たちは何を大切に仕事をしていくべきかを示唆している文章ではないかと思います。

賀川記念館は、第二種社会福祉事業として隣保事業を行っています。地域の課題を制度やシステムの対象として捉えていくのではなく、セツルメント事業の根本原理である「人格交流運動」をその手法として、人間的な関わりを通して改善していきたいと思っています。対象者の自覚を促し、人間に変容が起こることを期待して仕事をしていく。このことを大切にしていくことが記念館の使命であります。現代における福祉的課題を人間の課題として、ひとり一人との関係を通してみていくことを忘れてはいけないのでしょうか。

幾多の困難を乗り越え、建物だけではなく、引き継ぐべき魂をこの館に備えられた先達の熱い思いを大切に、セツルメントの仕事として何をなすべきかを考え、現代における隣保館の役割を果たしていきたいと思います。

副館長 馬場一郎



1963（昭和38）年に賀川記念館（写真左：旧館）が完成し、隣保館としての活動を開始しました。そして、賀川豊彦献身100年記念事業として、2009年12月に現在の賀川記念館が建てられました。（写真右：新会館）



賀川記念館設立 50 周年記念事業 感謝礼拝＆感謝会が開催

賀川記念館は、1963 年に最初の会館を与えられてから、2013 年で 50 年を迎えました。設立 50 年を記念してさまざまな記念行事を行いました。その一つが、感謝礼拝と感謝会です。賀川記念館の活動に関わっていただいたボランティアやスタッフなど関係者を招いて、2014 年 3 月 8 日（土）午前 10 時から上内鏡子牧師（神戸イエス団教会）司式のもとに設立 50 周年感謝礼拝が、48 名の参加者のもとで行われました。

上内牧師から「人格交流の場所」というテーマで式辞をいただき、社会福祉法人・学校法人イエス団を代表して理事長 黒田道郎から謝辞が述べられ、賀川記念館副館長の馬場一郎からスライドを使った記念館活動報告の紹介がありました。

それに引き続き感謝会が賑やかに行われました。賀川記念館館長 賀川督明からの挨拶で始まり、それぞれの参加者の紹介、そして「思い出を語る」では、賀川記念館ボランティア OB・OG の小池茂晴さん、南波陽子さん、賀川記念館旧職員の加藤鉄三郎さん、祐村明さんに当時の懐かしい話を語っていただき、盛会の内に閉会しました。

写真上：賀川記念館活動報告の様子（副館長 馬場一郎）

写真中：「思い出を語る」で加藤鉄三郎さんがハーモニカを披露

写真下：感謝会の賑やかな様子



特別展 「描かれた賀川豊彦」

賀川記念館設立 50 周年記念特別展『描かれた賀川豊彦』を 2014 年 2 月 1 日から 4 月 13 日まで賀川記念館 4 階ミュージアムに於いて実施致しました。神戸新聞、読売新聞に掲載され大きな反響が有りました。2 月 216 人、3 月 202 人、4 月（集計中）計 418 人の来館者が有りました。来館者は皆さん熱心に見学され、賀川豊彦の大きな業績に心を打たれたご様子でした。以下のような内容を展示しました。

A. 外国で翻訳されていた賀川豊彦の著作と賀川豊彦について書かれた本を約 20 冊強あり、想像以上の多さです。外国での賀川豊彦への関心の高さを反映しています。本の表紙に賀川豊彦の写真を大きく掲載しているのが印象的でした。

B. 肖像画を 5 点、展示しました。賀川豊彦記念松沢資料館、本所賀川記念館、鳴門市賀川記念館とここの賀川記念館のそれぞれが所蔵している肖像画を並べて展示しました。また、水彩画の挿絵を 63 点展示し、それを順に見て行くと賀川豊彦の生涯の活動が理解出来るようになっています。これらの肖像画と挿絵は、全て「長尾 己（き）」氏によるものです。この長尾己氏は、賀川先生に最大の影響を与えた牧師の長尾巻氏の三男で、彼の絵やレプリカは賀川先生の人柄をもっともよく表していました。

C. 胸像の写真を三点、立像の写真一点。胸像の一つは東京渋谷にある日本生活協同組合連合会の 1 階ロビーに設置されており、全国から来る生協人を見守っています。一点の立像は米国ワシントン国立大聖堂の壁面に設置されている聖人像の一つで、リンカーン等と一緒に日本人でただ一人選ばれているものです。もう一つ賀川豊彦の 40 才の頃のレリーフを展示了しました。この表情が実際に賀川豊彦を現しています。これも長尾己氏の作品です。

D. 映画になった「死線を越えて」と舞台演劇で演じられた記録も展示。

E. 賀川豊彦の生涯を劇画で描いたものが 11 冊有りますが、それらの解説をパネルで紹介したものも展示しました。

これらの展示物は、全て画像データーで記録をしていますので、いつでも御来館の時にご覧頂けるようにしております。どうぞお越し下さい。



賀川記念館 50 周年記念
特別展 2014 描かれた賀川豊彦
2014 年 2 月 1 日（土）～4 月 13 日（日）

水彩画挿絵では、「評伝 賀川豊彦」武藤富男著 キリスト新聞掲載時の挿絵。油絵では、賀川豊彦記念松沢資料館、本所賀川記念館、鳴門市賀川豊彦記念館に所蔵の肖像画等を展示致します。貴重な展示となりますので、ぜひこの機会にご覧下さい。

長尾 己（き）
1901 年兵庫省の下屋として芦屋市に生まれる。白百合会洋画研究所に入学し翌回講師より賞賛を受け、同時に由良静華、佐原に小堀良平をかいじ。第一回文展（社屋の前庭）に入选。その後明治学院高等女子科在籍中に 30 年藝術講習会（西画）などを受講して就職される。1963 年に死去。

開館：10:00～17:00（入館 16:30 まで）
休館：月曜日
入館料：一般 300 円 学生 100 円

賀川記念館 4F ミュージアム
神戸市中央区若葉通 5-2-20
事務局：電話：078-221-3827
E-mail：office@core100.net



100年シンポジウム「我が組織の10年計画と賀川豊彦」開催

賀川記念館50周年、コア100賀川5周年を記念した100年シンポジウム（100年間継続）を3月15日に賀川記念館で開催致しました。46名のご参加を頂きました。

タイトルは「我が組織の10年計画と賀川豊彦」で、昨年までのシンポジウムでは、関心ごとや課題についての専門家の人達を御招きして開催していましたが、今回は「コア100賀川」の構成メンバーがパネリストになり、自分たちの問題を討論することにしました。

コーディネーター：

近畿労金 地域共生推進部長 法橋 聰

パネリスト：

JA 兵庫中央会 総務部長 松本 宏

全労済兵庫県本部 総務部長 松山昇治

イエス団 事務局長 中田一夫

ならコープ広報・経営管理マネージャー 高橋 永

まず、それぞれの所属団体の10年計画をパワーポイント等を使って発表した後、後半は会場からの質問に応える形式で行いました。会場参加者も「コア100賀川」のメンバー組織の若い

写真上：シンポジウムの様子

写真中：語り部による館内特別案内の様子

写真下：協同組合パネル展の様子



職員であったためか、活発な論議になりました。我が組織の政策の揺るぎの有無を確かめる鋭いものや、我が組織の原点の再点検を促すもの、「コア100賀川」相互の連携を迫るもの等が出来活発に論議されました。

賀川豊彦が始められたそれぞれの活動は、当初は総合的な思想の中で統一して行われていたのですが、時間が経つにつれて専門化され、個別にそれぞれの道を進むようになって来ています。そのため統合されていた時の大切な統一性や、連携性等が欠落しているのではないか。我々は元々一つであったものだという認識を持ち、もう一度総合的な組織を意識して、相互に連絡を取り合わねばならない。これらの課題を共有して終了しました。大変有意義なシンポジウムとなりました。

「コア100賀川」とは：賀川豊彦の精神をその組織の理念とする組織の集まり。構成団体：兵協連、JA 兵庫、JF 兵庫、全労済、労金、連合兵庫、共栄火災、ならコープ、コープこうべ、YMCA、イエス団、賀川記念館。

写真右：電子書籍「賀川豊彦セレクション第1巻」が発売され、Kindleを使ったデモンストレーションが、伴武澄国際平和協会会长（写真左）によって行われました。

お問合せ：

財団法人国際平和協会 〒107-0051

東京都港区元赤坂 1-1-7-1103

ホームページ <http://awpj.org>

メール kyokai@awpj.org



「賀川像」を賀川記念館に！

賀川記念館50周年記念事業の一つとして、賀川豊彦の「胸像」を賀川記念館に設置する計画をいたしました。多くの人々が賀川記念館に来られた時に賀川豊彦に出会い、賀川豊彦の原点を繰り返し考える機会を作りたいと思います。ご協力をお願いします。

制作者は、乾漆のモダンアートで海外でも高い評価を受けている彫刻家・小杉三朗氏です。「乾漆とは、簡単に言うと、粘土で作った原型の上に、漆（うるし）を浸した麻布を何層も重ねて貼っていく技法です。漆は日本の気候風土に合った伝統的な素材ですから、鑑真和尚の胸像のように1000年以上も保つことができます。また、麻布の柔らかさを漆の深い光沢が独自の質感を生み出します」と小杉氏の談。

この「賀川豊彦の胸像」を出来るだけ多くの同じ志を持った人々の協力によって実現したいと思います。皆様のご参加、ご協力をお願い致します。

募集額：

本体 100万円 台座 20万円 輸送費 10万円 合計 130万円

募金一口：

個人 1000円 法人 10,000円

振込先：

近畿労働金庫 神戸支店

(普通預金) 4021751

社会福祉法人イエス団

賀川記念館

賀川豊彦胸像制作・設置委員会
委員長 賀川記念館参事 西義人



第4回賀川賞

2月6日、7日に団体と個人の二組に賀川賞をお渡しました。

団体の部：『神戸製鋼所労働組合神戸支部』様です。

1954年に青年部を発足させ、1967年より神戸市内の福祉施設を対象としたボランティア活動を開始されました。1991年より神戸市内の母子生活支援施設の子どもたちを遠足に招待する取り組みを継続しており、2014年2月までに計36回実施しています。必要となる資金は毎年年間2回のボーナス時に青年部委員が神戸製鋼所の各事業所において、カンパ活動を行い、多くの職員の善意を集めています。これらの活動は半世紀にわたっています。誠に尊い善意の行いで、賀川豊彦の精神を受け継いで頂いている活動と感じました。



写真：賀川賞贈呈の様子

個人の部：菅野芳春（すがの よしはる）氏

39才で青年海外協力隊からガーナに派遣され、村の副首長に任命される程高校での理科や保健分野で活躍されました。帰国後「ガーナ支援交流会」を設立、奨学金での教育支援、女性や障がい者の作った小物の販売、ガーナでの



賀川賞の記念品『ともしび』 松沢栄一作

新たな活動にサトウキビの有機栽培を掲げ、沖縄で栽培方法を学んでいるさなか東日本大震災が起こり東北に行かれます。女性の再就職が困難な中、就労の場である『ワタママ食堂』を立ち上げ、高齢者向けの弁当を作り仮設住宅に届けています。その中から20円をガーナの子どもたちの給食支援に回しています。

雇用創出と高齢者支援、東日本とアフリカ支援を同時に実践する、困っている目の前の人達のために働くという活動は、賀川豊彦の活動を現代に行っていると言えます。



写真：受賞者 菅野芳春氏

『語り部』二期生の発表会

賀川記念館には、ミュージアム見学者に対して説明をする『語り部』ボランティアの方が居られます。その内2010年の開館からお世話頂いている一期生の方が10人です。そして新しく、昨年から賀川豊彦を研究していただいている6名の『語り部』ボランティア二期生が居られます。その二期生の研究成果の発表会を3月27日に行いました。

それぞれが1年間の研究の成果をしっかりと発表して頂きました。4月から『語り部』ボランティアとして立派にデビュー致します。来館予約を頂きますと、これらの『語り部』の方にお願いをして説明の対応をして頂きますので、賀川豊彦がどのような人であったのか、どのような事を行ったのか、日本にどのような影響を与えたのかが大変良く分かり、目からウロコが落ちるような経験をして頂けま

～語り部ボランティアが研究発表～

す。多くの方のご来館を御待ち致します。まずは、電話でご連絡を！ 078-221-3627 賀川記念館まで



鳥飼慶陽の KAGAWA GALAXY

第1回 武内勝（1892～1966年）

今回から数回に渡り、鳥飼慶陽先生のコラムを掲載いたします。鳥飼先生は、1966～1968年、神戸イエス団教会伝道師として活躍され、その後、賀川豊彦に倣って長田区に「番町出会いの家」を開設されました。賀川豊彦の研究者であり、現在は賀川豊彦の同僚者にフォーカスをあて多くのブログを公開されています。



新しいコラムの美しいタイトル「KAGAWA GALAXY」は、その生涯において「星」を愛した賀川豊彦と吉田源治郎に因んで、イエス団の吉田摂氏が名付けられた言葉です。かつて「吉田源治郎・幸の世界を訪ねて」という150回にわたる長期連載の折に、これを使用させていただきました（現在も <http://k100.yorozubp.com/>で閲読可）。

もちろん「JESUS BAND GALAXY」というのも面白いですね。イエス団に連なるすべての人々が、それぞれに託された持ち場に在って「JESUS BAND GALAXY」として華やぐ！ これは、ひとりひとりがイエス団を代表し、その持ち味を存分に發揮しつつ、地の塩として人知れず輝いておられる確かな事実を言い当てていますね。

ところで、2009年には「賀川献身100年」の大きな取り組みがスタートし、新しい賀川記念館の再建も実現しました。引き続いでも、「Core100 賀川」を中心とした幅広い協同の輪のなかで、開かれたイエス団としてその使命を果たしつつあります。新しい歴史は、常に数知れない先達たちの、神と共に生きた冒険的な働きに包まれて、促されています。

そこでこの小さなコラムでは、先駆者である賀川豊彦・ハル夫妻と歩みを共にしたイエス団草創期の先達たちの幾人かを取り出し、「KAGAWA GALAXY」としてその熱い息吹きに触れてみたいと思います。

第一回は「イエス団」の最も地味な大黒柱・武内勝・雪夫妻の名を挙げさせていただきます。賀川は1888年神戸生まれ、武内は1892年岡山生まれで、ふたりは4歳違いです。賀川が1909年に「新川」での生活（「救



靈団」）を始めますが、既に武内は近くの日暮通の貝ボタン工場の工員として働いていました。

「救靈団」でのふたりの最初の出会いは1910年の夏のことですから、武内は「イエス団」の最初期からのメンバーであり、それは賀川がハルと出会う前のことです。以来ずっと一賀川がハルと結婚して米国留学中はもちろん、関東大震災の救援のため神戸を離れて以後も一武内は自らは労働紹介所の仕事を開拓しながら「イエス団」の働きの大黒柱として、その地道な歩みを貫き通し、イエス団の重責を担いつつ1966年にその生涯を終えました。

武内はその晩年、イエス団教会のメンバーの求めに応えて語られた連続講演「創業当時の回想」（10回）の口述記録を、村山盛嗣牧師が編集して成了『賀川豊彦とそのボランティア』。一本書は現在、賀川献身100年記念出版として新版『賀川豊彦とボランティア』（神戸新聞総合出版センター）として一般書店で発売中で今日まで広く読み継がれていますので、この一冊で「武内勝の世界」の概要は窺い知ることが可能です。

なおこの連続講演とは別にさらに10回の連続講演が行われており、その貴重な録音テープが発見されて、只今賀川記念館のHP (<http://core100.net/>) の「資料室」を検索すれば、武内の声を聴取可能になっています。そして既に本紙で紹介済みですが、武内勝の肖像画（写真）がイエス団に寄贈され、賀川記念館の一階に掲げられています。

奇しくも「賀川献身100年」の記念の年には、武内夫妻の御子息・武内祐一氏が大切に保存しておられた貴重な資料（武内の日記・アルバムをはじめ大量の「賀川豊彦・ハル夫妻の武内勝宛書簡」）の閲読が許され、「賀川献身100年事業オフィシャルサイト」において「賀川豊彦のお宝発見」として94回の長期連載が可能になりました。

上記のごとく、これは現在 <http://k100.yorozubp.com/>で閲読いただいており、改めていまそれに補正を加えて「賀川豊彦の魅力」(<http://keiyouzan.blog.fc2.com/>)において「賀川豊彦の畏友・武内勝氏の所蔵資料より」を連載中です。

賀川豊彦召天54周年記念墓前集会

今年は賀川先生が天に召されて54周年になります。この時代に賀川精神を如何に継承すべきかを共に考えたいと思います。どうぞ多数ご参加下さいますようお待ちいたしております。

- とき：2014年4月26日（土）午後2時（雨天決行）
- ところ：賀川記念納骨堂（神戸市舞子墓園内）
- テーマ：「賀川豊彦と有島武郎の事など」
- 講師：田辺健二先生（鳴門市賀川豊彦記念館館長）
- ☆お問い合わせは、賀川記念館事務局まで。



総合研究所プログラムの報告

「福島は今～『東北ヘルプ』」の活動から見た現状とこれから、そして私たちにできること～

今回のゲストは昨年に引き続き「東北ヘルプ」（仙台キリスト教連合被災支援ネットワーク）の事務局長、日本基督教団仙台市民教会の牧師でもある川上直哉先生をお招きし、「福島の現状」についてお話をいただきました。

東北ヘルプの働きは、前号でも少しご紹介させていただきましたが、仙台を拠点に青森から福島まで、キリスト教会（教派を超えたネットワーク）を通して、「教会再開支援」、「被災者の自立支援」、「外国人被災支援」、「放射能被害への対応」、「心の相談室」と「臨床宗教師の設立」等の活動を震災当初からされてこられ、現在でも各方面的支援活動を継続されておられます。



被災地の支援活動の中でも福島県の現状は、現在も複雑で深刻だと川上先生は語っておられました。

3.11 後の福島県は、大規模な津波の被害と共に、深刻な放射能の被害が重なるまさに「二重の被災地」との事。当初この地域に入って支援活動をされる中、福島県以外の地域に住む方々との間にも激しい認識の差がみられ、通常では考えられない程、高い放射線量の中に子どももお年寄りも「日常」を過ごされています。国や県、東電（東京電力）からそれぞれ異なった情報が錯綜し、今後深刻な状況をもたらすであろう健康被害への不安の中に生活をされておられるそうです。

「原子力明るい未来のエネルギー」と県内に掲げられた看板に強い憤りを感じられ、むしろ「原発で故郷を破壊された」と訴える地域の方の言葉が印象的でした。

「私たちに何ができるのか」という川上先生がご自身に向かって問いかね、私たちのできることを一つ一つ被災地に寄り添いながら、連帯を生み出していける支援を継続していく強い決意を述べられておられました。

これからも賀川記念館では川上先生のお働きに微力ながら支援していきたいと思います。

「前例がなければ作ればいい」 ～クリスマスコンサートとお話～声楽家：青野浩美

今回は遠路京都より、原因不明の病により気管切開を余儀なくされ、現在車椅子で精力的に活動されておられる声楽家、青野浩美さんにお越しいただき素晴らしい歌声とメッセージをいただきました。

会の冒頭で青野さんが利用者として関わっていただいている賀川記念館関係施設、京都の愛隣館内にある京都市南部障がい者地域生活支援センター「あいりん」の篠原文浩さんより、映像やスライド等を交え、青野さんのご紹介と気管切開を行うことになったお話についてご説明いただきました。

実際のテレビのニュース番組で青野さんが取り上げられた時の映像や、某テレビ局の 24 時間テレビにも声楽家としてご出演された経験、また自身体を動かすことが大好きで、趣味ではじめられた車椅子バスケットボールでもパラリンピックの強化選手に選ばれるなど、多彩な経歴もご紹介いただきました。

また、在宅で人工呼吸器などを使い障がいがある方の生活を支える「医療的ケア」についてもお話をいただき、はじめて聞く方にも分かりやすく、後で伺う青野さんのお話がより深まつたと思いました。

コンサートでは、クリスマスを待ち望む待降節ということもあり、クリスマスならではの曲もご披露いただきました。気管

切開された方とは思えない素晴らしい歌声に会場全体が魅了されました。ドイツ語での「野ばら」（シューベルト）や「もろびとこぞりて」、「きよしこのよる」、「あらののはてに」そして最後に「Believe」を歌っていただきました。この「Believe」という曲は青野さんお気に入りのナンバーで歌詞が彼女の人生を思い起させるとのこと。歌と歌の合間に発病されてから現在に至るまでの話を聞いていただきました。

青野さんのご両親は共に学校の先生をされておられ、お父様は体育の先生、お母様は音楽の先生、なので「体育と音楽だけは誰にも負けられない」と青野さん。そんな運動系・音楽系の家庭で育たれました。

同志社女子大学で声楽を学んでおられた 23 歳の 12 月に原因不明の病を発病され、一時は寝たきり状態に。懸命なりハビリによって、日常生活が出来るまでに回復されましたが、車椅子が欠かせないものになってしまったとの事。しかし「無呼吸発作」を発するようになられ、医師から気管切開をする必要があると宣告されました。声楽家としての道を歩んでこられた青野さんは、「声か命か」どちらをとるか悩む日々が続いたそうです。

そんな時、ご友人から「命より大切なものはない」と叱咤激励を受け手術に踏みきるという決断をされたました。また医師からは気管切開した声楽家が復帰した前例がないため、声楽家としては、いや歌う事すら難しいといわれたそうです。しかし、青野さんは前例がなければ自分がつくればよいと思ったそうです。「前例がないなら自分が作ろう！」と、今回の講演やご自身の著書のタイトルにもなっているこの言葉のなかに、青野さんの生の讃美歌が綴られています。

青野さんは障がいがなければ様々な人の出会いが与えられなかったとおしゃっておられたのが非常に印象的でした。青野さんにそう思わせてくれたのは、本日のピアニストであるご友人や家族の方が青野さんの障がいがひとつの個性だと受け入れてくれた存在意義が大きかったとの事。

障がいがあるないにかかわらず、「できることやしたいことを精一杯する！」改めて青野さんから生きる姿勢について学びました。

※青野さんについてより詳しくお知りにならたい方は、ぜひ著書をお読みいただきたいと思います。

<http://www.creates-k.co.jp/>



「地域を知る」 ～吾妻ふれあいのまちづくり協議会について～

2014 年 3 月 4 日、午後 6 時から「吾妻ふれあいのまちづくり協議会」について、会長の祐村明氏より講演いただきました。「吾妻ふれあいのまちづくり協議会」は、高齢者、障がい者、児童など全ての住民が地域社会の温かいふれあいの中で自立と連携を図り、快適な日常生活を送れるようなまちづくりを目指して、地域の各種団体ネットワークを生かし、市民と行政が協働して地域福祉の向上を図っていく団体です。1 小学校校区に一つで、組織の構成は、八雲地区民生児童委員、吾妻婦人会、社会福祉施設、防犯協会、老人クラブ、自治会、消防団、小学校 PTA、市場商店会等からなります。

5 つの部会（総務部会、広報部会、文化事業部会、福祉保健部会、防犯安全部会）がそれぞれの活動を行っており、「ふれまち夏まつり」や「ひなまつりもちつき大会」などで交流を行っております。その他、「なんでもゆうてや」相談事業は、相談に行くのは大変なので、身近なちょこっと聞きたいことをその人と一緒に解決のために考えている相談事業です。また、「3.11 東日本大震災支援募金活動」を毎年、大安亭の入口で行っておられます。

地域の住民組織、団体と連携しながら住民の福祉課題を担うとともに居場所作りに役立つアットホームな施設でありたい、と語られました。

「地域を知る」

～中央ふきあい防災福祉コミュニティについて～

同じく3月4日、「中央ふきあい防災福祉コミュニティ」について、委員長の伊豫本定信氏に講演いただきました。平成10年設立され、その活動には、福祉施設の自衛消防訓練、他府県から来神する中学生の震災体験学習や語り部活動、中央区総合防災訓練、市民リーダー研修、夜間パトロールなどがあり、すべてボランティアでやっておられます。

特に防災訓練は、1月17日の次の日曜日にコミスタこうべで中央区役所、消防署、青少年育成協議会、警察署を巻き込んで大々的に行ってています。炊き出し訓練、人工呼吸、消火訓練、バケツリレーなどを行っており、地元の中学生や地域の人たちが積極的に防災訓練に参加して、いざという時の原動力になってくれることを願っておられます。

阪神淡路大震災を体験していない人が4割になり、震災が忘れ去られようとしています。そのため、日頃から危機管理を意識しておくことが大切です。防災は頭だけで考えていてはダメで実際に訓練に取り組むことが必要です。また、防災には地域

全体の団結力や地域の絆が大切です。地域で挨拶を交わし地域力を高め絆を深め、安心な社会を築いくことが大切ですと熱心に語られました。



総合研究所公開プログラムの予告

賀川豊彦と記念館の働き

講師 西 義人 賀川記念館参事

祐村 明 吾妻ふれあいのまちづくり協議会 会長

7月8（火）18時より

【前史】神戸港開港（1865年）から1963年まで 【後史】記念館開館（1963年）から現在をお二人の講師の方にお話いただく。

福島の現状と課題（予定）

～いわき市における常磐教会と東北ヘルプの働きから～

講師 明石義信 日本基督教団常磐教会 牧師

11月15（土）

チェルノブイリ事故後のベラルーシの観察を踏まえ、被災地の今後の支援を共に考える。

「フクシマ」と向き合う

講師 西山祐子 「みんなの手」代表

日程調整中

放射能の恐怖から子どものいのちを守るために、福島市から自主避難してこられた方を通して、震災当時から今に至るまでの思いを聴く。

講師 鈴木絹江

DVD上映「逃げ遅れる人々」

日程調整中

震災時に障がいのある方々のいのちはどのように守られたのか。また、震災後から今に至る障がいのある方々の生活はどのように変化していったのかを学ぶ。

天国屋カフェ ボランティア養成講座

「コミュニティ・カフェの役割」

講師 榎本てる子

4月29（火・祝）14時～16時

講師プロフィール：関西学院大学神学部卒業。カナダ・ウォータールー・ルーサレン・セミナー修了。日本キリスト教団京都教区 巡回教師としてバザール・カフェ・プロジェクトの創設に関わり代表として8年活動。現在、関西学院大学神学部准教授。

「対人援助について～どのように人とつながるのか～」

講師 松本聰子

5月24（土）13時～15時

講師プロフィール：臨床心理士・特別支援教育士。神戸女学院大学カウンセリングルーム非常勤カウンセラー。家族支援研究会副代表。

コーヒーのお話

講師 遠藤優子

6月14（土）13時～15時

講師プロフィール：大学卒業後、栃木県那須塩原市にある学校法人アジア学院に勤務。東日本大震災後、宮城県石巻市や福島県内で復興支援に携わる傍ら、アジアやアフリカにいる友人たちの活動を支援するため、手回し焙煎器でのコーヒー焙煎を始める。

※関心のある方はどなたでも受講できます。
ボランティア希望者は全講座に出席してください。
1回 1,000円 × 3回（コーヒーとケーキ付き）
主催：賀川記念館隣保事業 天国屋カフェ
〒651-0076 神戸市中央区吾妻通5-2-20
《問い合わせ》078(221)3627 真下

東日本大震災からの復興を支えよう

宮古ショッフ

2014年3月11日で東日本大震災から3年になりました。賀川記念館では2011年9月から、岩手県宮古市の障がい者施設で作られた製品の販売支援を続けています。宮古の15の障がい者施設で作られた“いきいきフェア実行委員会”とやり取りをして賀川記念館の常設宮古ショップで販売し、またYMCAや教会、イエス団の施設で行われるバザー等で売っていただき、支援を続けています。震災の影響で販路がたたれ、なかなか売り上げが回復せず、今後も継続して支援をしていきたいと思っています。

これまでの売り上げをお知らせします。

<2011-2013 バザー等での宮古支援製品販売実績>

販売月日	催し物名（主催団体）	2013年度	2012年度	2011年度
2013年05月26日(日)震災復興フェスティバル(三田市商工会青年部)	35,600	—	—	—
2013年06月02日(日)震災支援行事(プラスワンネット)	17,500	—	—	—
2013年06月08日(土)ワイズメンズクラブ国際協会第16回東日本区大会(ワイズメンズクラブ国際協会東日本区)	110,350	—	—	—
2012年06月14日(木)大阪北地区イベント(コーポこうべ大阪北地区)	—	44,290	—	—
2013年06月22日(土)ワイズメンズクラブ国際協会第16回西日本区大会(ワイズメンズクラブ国際協会西日本区)	104,870	73,490	—	—
2013年07月20日(土)くずは光の子保育園バザー(くずは光の子保育園)	70,880	—	—	—
2013年07月20日(土)のぞみ保育園バザー(のぞみ保育園)	31,300	19,940	—	—
2013年09月16日(祝)第5回ふれあいネットワークフェスティバル(障害者支援非営利団体西宮ふれあいネットワーク)	21,600	44,700	26,170	—
2013年10月27日(日)西宮YMCAカーニバル(西宮YMCA)	30,390	36,390	29,850	—
2013年10月27日(日)ワイワイまつり(西神戸YMCA)	5,350	10,450	17,260	—
2013年11月02日(土)甲子園二葉幼稚園バザー(甲子園二葉幼稚園)	32,200	46,100	51,010	—
2013年11月03日(日)賀川記念館フェスティバル(賀川記念館)	5,380	25,760	42,650	—
2013年11月04日(祝)一麦保育園バザー(一麦保育園)	25,050	29,300	40,000	—
2013年11月04日(祝)須磨教会バザー(須磨教会)	40,600	44,200	49,320	—
2013年11月09日(土)宇山光の子保育園バザー(宇山光の子保育園)	29,380	52,060	—	—
2012年11月10日(土)東北応援市(ガリレオクラブインターナショナル)	—	12,480	—	—
2013年11月17日(日)神戸雲内教会バザー(神戸雲内教会)	10,550	5,210	16,860	—
2012年11月25日(日)堺福音教会バザー(堺福音教会)	—	19,550	—	—
2013年03月02日(土)春咲縁日(one village one earth)	—	15,960	—	—
2014年03月09日(日)ユニセフのつどい(兵庫県ユニセフ協会)	18,130	23,740	21,500	—
合計	589,130	503,620	294,620	—

*賀川記念館常設の宮古ショッフの売り上げは、2011年9月～2012年3月：133,000円

2012年4月～2013年3月：150,000円 2013年4月～2014年3月：108,945円

ご協力いただきました
皆さま、ありがとうございます。
これからもご支援を
よろしくお願い致します。

みなさまの施設のバザー
やイベントなどで、ぜひ、
「宮古ショッフ」を開いて
いただけませんか？

ご注文、お問い合わせは、
賀川記念館までご連絡ください。

賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL CENTER

tel : 078-221-3627
fax : 078-221-0810

インターナショナル キッズ ディ @ 賀川記念館

3月29日(土)に、36名の元気な子どもたちとお母さんたちが「インターナショナル キッズ ディ @ 賀川記念館4F」のプログラムに参加するために、やってきました。このプログラムは、神戸ユニオン教会のチルドレンズ・ミニストリーのリーダー宮谷恵深さんが準備をして来ました。こどもたちは、地域の子どもたちや賀川記念館と関係のある諸施設(ひまわり学級、二宮児童館、友愛幼稚園、発達支援事業くっく、神戸イエス団教会など)の子どもたちが参加をしました。神戸ユニオン教会のチルドレンズ・ミニストリーから11名の先生(恵深さん、ロイさん、オフィーさん、トニーさん、チエミさん、タマラさん、ヘザーさん、ローズさん、シャーローさん、ヨウコさん、ヨシエさん)が、元気な歌からプログラムを始めました。次に、先生は自分たちの国の写真を見せながら、それぞれの国を言い当てるゲームをしました。(子どもたちは、ユニークな答えをたくさんもっていました!)子どもたちは、英語のゲームをしたり、ジャンケンゲームをしたり、楽しそうでした。それから、先生たちは、聖書のお話「善きサマリア人の物語」をとても上手に演出し、子どもたちに教えていました。最後に、賛美の歌を降り付きで歌いました。

その後、礼拝堂の横にある天国屋カフェでおやつを食べました。



協力：西宮ワイズメンズクラブ



写真：「ユニセフの集い」での販売の様子



子どもたちは、ひとり一人、イースターのチョコレートと万国の国旗がついたえんぴつが入ったプレゼントの袋をお土産としてもらいました。最後には、4月20日のイースター礼拝(神戸イエス団教会)のたまご探しの案内をもらって帰りました。また、賀川記念館に来て欲しいですね。

米国メソジスト教会宣教師 クラウディア・ジュノン - 山本

ナイトカフェの催し クリスマス ゴスペルコンサート（12月20日）

デビューして間もない Kamicoco というデュエットが、さわやかに歌と踊りでクリスマスの雰囲気を盛りあげました。



アンサンブル コンサート（1月24日）

アーベントムジーク神戸というグループの初舞台となりました。というより、この舞台のために、わざわざ名前を付けたのではないかと思うほどでした。チェンバロの岡崎菜佳子さん、バイオリンの平井誠さん、フラウトトラベルソ／リコーダーの小栗 献さん、ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラの小渕昌男さん。この小渕さんは、山梨からわざわざこのために出て来られました。彼の本業は、チェンバロの制作。チェンバロが搬入される時、バラバラになっていたものを、賀川記念館の4階で組み立て、美しいチェンバロに。そして、本番は、ヴィオロンチェロ・ダ・スパッラを演奏されました。

本番は、雰囲気も和やかで、古典音楽の音色は、とても心地が良いものでした。演奏の後、珍しい楽器に触れさせてもらえる時間もあり、とても充実した時でした。



ハープアンサンブル ドリビー（2月21日）

心斎橋でハープを習っているグループです。大小4つのハープで、日本の曲、カントリーなど幅広い演奏でした。ご本人たちは一人を除いてみんな素人だそうです。カフェとのつながりは、榎本てる子先生のゼミ生の保護者でした。それが、ドリビーのメンバーの一人、児島若菜さん。彼女は、娘さんの社会見学先であった賀川記念館を訪問し、賛助会員となりました。そこで、去年公開プログラムで招いたハープ・ミニストリーのキャロル・サックさん来神を知り、講演会に参加されました。それがきっかけで、ナイトカフェの催しにたどり着きました。賀川記念館には、不思議な出会いとつながりがいっぱいです。



天国屋ナイトカフェ催物 <予告>

地域のつながりを考え、「生きづらさ」を感じている人の集まる場を提供する。とにかく、楽しく食卓を囲んで、一緒に「場」を作り上げよう。

～収益の一部を東日本大震災支援に献げます～

2014年 4月18日（金）18:30～

東日本大震災復興支援報告会 with ミュージック
米田和正さん（みんなげんきジム）&おともだち

2014年 5月16日（金）

2014年 6月20日（金）19:00～
竹中真ジャズライブ 参加費：1,000円

< 天国屋ナイトカフェはいずれも 17:30～です >

International Kids' Day at Kagawa Center



On Saturday, March 29th, 36 excited children and many of their parents came to participate in an International Kids' Day program held on the fourth floor at Kagawa Center. This event was coordinated by Megumi Miyatani, leader of the Kobe Union Church Children's Ministries. Children from the neighborhood as well as children from the various programs related to Kagawa Center attended. (Himawari and Ninomiya After School Care

programs, YuAi Day Care, children with special needs class, and Kobe Jesus Band Church Sunday School children.) Eleven teachers from the Kobe Union Church Children's Ministry Team (Megumi, Roy, Ofie, Tony, Chiemi, Tamara, Heather, Rose, Shirley, Yoko, Yoshie) started off our International Kids' Day by leading action songs. Then the teachers showed pictures of the countries where they were from and asked the children to guess which country they were from. (The children made some interesting guesses!) The children also played simple games in English and even did a Jon Ken Po Train game. The teachers presented a Bible story on the "Parable of the Good Samaritan" which was a lot of fun as they were very creative in acting out the parts. We ended the program with a very lively dance to a popular praise song. Afterwards, we ate snacks together in the Heaven's Café next to the chapel and each child received a little souvenir bag with Easter chocolates and a pencil with flags from different countries on it. Flyers were passed out inviting the children to come to an Easter Egg Hunt at Kagawa Center on Easter Sunday, April 20th. We do hope the children come back to Kagawa Center again soon!

---Rev. Claudia Genung-Yamamoto, UMC missionary

日本基督教団 神戸イエス団教会

去る3月23日(日)に、子どもの教会に来ている子どもたちと合同礼拝を守りました。子どもたちとの合同礼拝は毎年行っています。卒業する子どもも、進級する子どもたちを祝い、また神さまに祝福を願う礼拝です。今年は、小学校を卒業する子どもたちが2人おりました。昼食は、子どもたちのお手製サンドイッチ、おにぎり、そしてピザでした。子どもたちは、最後に『花は咲く』を歌い、米田和正兄と加藤鉄三郎兄は、ギターとハーモニカでにぎわしてくれました。早春にふさわしくのどかな一時でした。

なお、教会は復活祭を祝います。時間などは以下の通り。

復活祭 イースター礼拝(賀川記念館4階礼拝堂)

2014年4月20日(日)10:45~ 礼拝、聖餐式、洗礼式

復活祭 イースター墓前礼拝(舞子墓園)

2014年4月20日(日)14:00~ 礼拝、納骨式

復活祭を祝って食事会

2014年4月20日(日)16:30~ 賀川記念館4階カフェエリア



日本基督教団 神戸イエス団教会

tel 078 (251) 4870 または 078 (221) 3627

友愛幼稚園

2013年度卒園式

3月15日(土)、すみれ組29名の子どもたちが卒園しました。1935年、イエス団友愛幼稚園として創立して76回目の卒園式となりました。卒園生は卒園証書の番号でたどると、2043名になります。1回目の卒園児は単純に計算すると、82歳になっておられるはず。そういうえば、友愛は今来ている子どものおばあちゃんが来ていた、という話がよく聞かれます。永い歴史の上に、今の友愛があるのだとつくづく思います。

0歳児から入園し、当初は泣いていた子どもたちが、しっかりと証書を受け取る姿には毎年、感動を覚えます。どうぞこれからも神さまの見守りのもと、すこやかに育ってほしいと願います。すっかり大きくなった友愛の卒園生、時々顔を見せに来てくださいね。待っています。



賀川記念館の歩み

2013年

12月

- 1(日) 全労済埼玉県本部(講演見学)
- 3(火) 関学栗林ゼミ(講演見学)
- 4(水) JAグループ三重(講演見学)
- 6(金) PHD協会研修生(講演見学)長田区福祉事務所(見学)
- 7(土) クリスマスコンサート(青野浩美氏)
- 8(日) 富山生協(講演見学)甲子園二葉教会(講演見学・ウォーク)
FNH アドベントの集い
- 10(火) 全労済千葉県(講演見学)
- 11(水) 山形県全共連(賀川館長出張講演)
- 17(火) 関西学院大学(西参事出張講演)
- 18(水) 語り部発表会
- 20(金) ナイトカフェ

2014年

1月

- 16(木) 語り部の会
- 17(金) 1.17 ウォーク(見学)
- 21(火) コア100賀川例会
- 24(金) ナイトカフェ
- 29(水) 関西学院聖和短期大学(ウォーク)

2月

- 1(土) 特別展「描かれた賀川豊彦」スタート
- 8(土) キリスト教保育所同盟(講演見学)
- 13(木) 語り部の会
- 14(金) 全国地域福祉施設協議会(賀川館長講演見学)
- 15(土) 全国地域福祉施設協議会(西参事出張講演)
- 21(金) 大阪パルコープ(講演見学) ナイトカフェ
- 26(水) コア100賀川例会

3月

- 4(火) 講演会「地域を知る」(伊豫本定信氏・祐村明氏)
- 8(土) 賀川記念館設立50周年記念礼拝・感謝会
- 12(水) コープ仁川(講演見学)
- 13(木) 和歌山県生協連(講演見学)
- 15(土) コア100賀川100年シンポジウム
三河平和・協同の学び(賀川館長出張講演)
- 18(火) 吾妻地域福祉ネットワーク会議
- 19(水) コープ白川台(講演見学)
- 21(金) 明治学院高校(見学)
- 22(土) 全労済中日本事業本部(講演見学)
- 25(火) 城ノ原人権の街づくり館(講演見学)
- 27(木) 語り部2期生発表会
- 28(金) ナイトカフェ
- 29(土) インターナショナル・キッズデイ

記念館ミュージアム入場者数

12月	一般 43名	団体 129名	行事 120名	合計 292名
1月	一般 66名	団体 205名	行事 158名	合計 429名
2月	一般 40名	団体 13名	行事 219名	合計 272名
3月	一般 40名	団体 48名	行事 209名	合計 297名

天国屋力フェの通常営業は 毎週：木・金・土 11時から16時まで

ランチ：500円 コーヒー・紅茶：250円
オリジナルケーキ：200円

テナント募集のご案内



お問合せは Tel : 078 - 221 - 3627

物件種目：医療用貸店舗

最寄駅：阪神「春日野道」駅

賃貸条件：テナント D 279,720 円／月（税込）

敷金 賃料の 10 か月分

敷引 3 か月分

物件所在地：神戸市中央区吾妻通 5-2-20

交 通：阪神「春日野道」駅徒歩 8 分

阪急「春日野道」駅徒歩 10 分

建 物 名：社会福祉法人イエス団「賀川記念館」

構造・規模：RC 造 5 階建

使用部分面積：D 区画：約 25.9 坪

築年月：2009 年 11 月

管理費等：D 区画 27,972 円

駐車場：店舗南側に来客用駐車場有り

備 考：内装工事は指定業者有

外部看板指定有（有償）

新刊書のお知らせ



賀川豊彦入門
—新しい時代を切り拓く先覚者—
発行 賀川豊彦記念出版会
定価 1,000 円（税別）



賀川豊彦の文学
—日本人初のノーベル文学賞候補—
発行 賀川豊彦記念出版会
定価 400 円（税別）

賀川豊彦セレクション第1巻を電子書籍で配本開始!!

『キリスト山上の垂訓』『雲水遍路』『その流域』『第三紀層の上に』
『柘榴の半片』『星から星への通路』『キリスト兄弟愛と経済改造』
『世界国家』『十字架に就いての瞑想』『涙の二等分』以上 10 選。

アプリ入力で iPad や Kindle など携帯端末で読む。

もちろんパソコンでもお読みいただけます。

ご希望に応じて Kindle 端末に入力いたします。

Kindle White Paper（白黒）=9980 円追加、
Kindle Fire HD7 タブレット（カラー）=15,800 円追加、

お申し込み：

メールまたは FAX でお名前と住所を添えてお申し込みください。
国際平和協会 03-3470-5013 メール editor@yorozubo.com

代金は商品に同封した郵便振替でお支払いいただきます。

お問合せ：

財団法人国際平和協会〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-1-7-1103
ホームページ <http://awpj.org> メール kyokai@awpj.org

再入荷のお知らせ



一粒の麦
—日本人初のノーベル文学賞候補—
発行 賀川豊彦『一粒の麦』を再版する会
定価 900 円（税別）

書籍のご注文は賀川記念館まで。
送料実費（クロネコメール便 1 冊 164 円）
にて配送致します。
賀川記念館 tel 078-221-3627



ボランティア vol. 104
賀川記念館
KAGAWA MEMORIAL HALL
社会福祉法人・学校法人 イエス団

発行日 2014 年 4 月 1 日

発行者 賀川督明

発行所 賀川記念館

〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通 5-2-20

tel : 078-221-3627 fax : 078-221-0810

ホームページ <http://core100.net>

お問い合わせ E-mail office@core100.net